

自筆証書遺言書の保管について

自筆証書遺言の保管についての説明となります。

●「封筒」の確認

遺言を入れる封書のポイントは次の通りです。

- イ) 封書も遺言者が**すべて自書**する。
- ロ) **遺言書に押印した同じ印**で封印する。^(注)
- ハ) **遺言書と同じ日付**を書く

(注) 遺言保管所に遺言書の保管を申請する場合は、無封とする。

●法的効果を高める工夫

(1) 印鑑登録証明書を一緒に保管する

自筆証書遺言に押印する印鑑は、「実印」とは定められていないので
認印でも構いません。しかし、遺言の信憑性を高めるために「実印」で
押すことが望ましいです。
遺言書・封書を「実印」で押印した場合は、印鑑登録証明書を取得して、遺
言書と一緒に保管するのが良いとされています。

封筒の記載例

(表面)

遺言書
在中

(裏面)

開封を禁ずる
この遺言書を遺言者の死後速やかに家庭裁判所に
提出して検認を受けること。
令和〇年〇月〇日
遺言者 〇〇〇〇 印
昭和〇年〇月〇日生

(注) 本文と同様に本人が自署することが必要です。また、本文で使用した物と同じ印で押印すること。

また、遺言保管所に保管された遺言書は、検認の適用が除外されます。

従って、この場合は、裏面の「開封を禁ずる・・・検認を受けること。」

の記載は不要です。